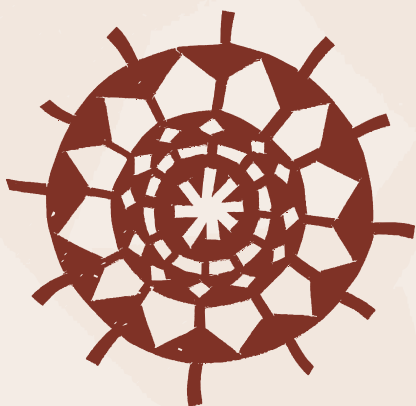
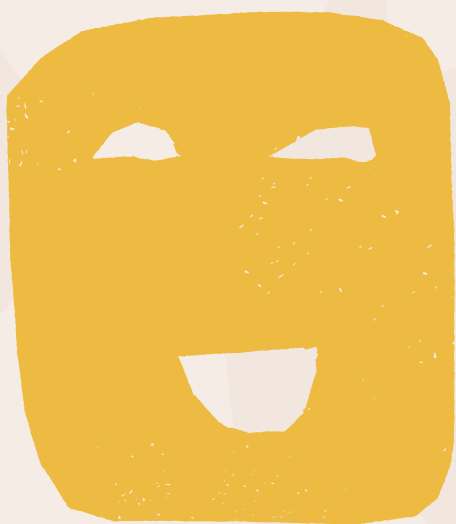


鳥取県伝統工芸品半世紀展

よらゝゝゝゝよらゝゝゝ

50年、これからも



Yokoso Yokoso: Celebrating 50 Years, Greeting the Next 50

2025年4月18日(金) - 5月10日(土)

休館日 4/21[月]

開館時間 / 9:00~17:00 会場 / 鳥取県立美術館 県民ギャラリー (鳥取県倉吉市駄経寺2-3-12)

主催: 鳥取県、鳥取県伝統工芸士会 企画・製作: 鳥取県伝統工芸品半世紀展製作委員会

入場無料

Yokoso Yokoso: Celebrating 50 Years, Greeting the Next 50

鳥取の豊かで厳しい自然が育んだ多彩な伝統工芸品。人々の生活とともにあり、地域の文化と交わりながら独自性をかたちづくってきました。令和7年は、鳥取県の伝統工芸品指定制度創設から40周年、また「因州和紙」と「弓浜緋」は、昭和50年に国の伝統工芸品に指定されてから50周年を迎えます。

鳥取で古代から高度なものづくりが営まれてきたことは、縄文、弥生時代の遺跡から発掘された暮らしの道具を見ても明らかです。先人たちは自然の素材に手を加え、何千年もかけて道具をより便利に、より美しく進化させてきました。鳥取の工芸品は、豊かな森や水や土の恵みから生まれたもの、厳しい冬の気候や痩せた砂地で育まれたもの、祭や年中行事を彩るものなど、地域の文化の結晶です。明治時代以降多くのものづくりが工業化され、急速に変化した生活スタイルは合理的である一方、早すぎるスピードや無機質さに味気なさを覚えます。今一呼吸おいて、昔ながらの手仕事の魅力に改めて出会い直す人々が増えています。伝統工芸の作り手は受け継がれてきた手法を現代に温存し、まるでタイムカプセルのように、失われかけた営みを未来に繋げています。

因幡地方の方言「ようこそ、ようこそ」は、「ありがとう」という感謝、「よくいらっしやいました」という歓迎や労いの心、相手への敬意を表すおもてなしの言葉です。

この地の先人から脈々と繋がれてきた伝統的な手仕事に改めて光を当て、これからの半世紀の継承、発展の礎となるべく、鳥取の伝統工芸の「今」を俯瞰する展覧会を開催します。

鳥取の伝統工芸、過去と未来の50年に、ようこそ、ようこそ。



ようこそ、ようこそ
50年、これからも



これからも、50年 exhibition

鳥取県の伝統工芸品の伝統工芸士の紹介、工芸品を育んだ鳥取の風土、民藝運動の影響など、これまでを振り返り、現代に求められる手仕事の魅力を再発見し、これからの鳥取の伝統工芸の未来を見据えます



1 因州和紙・弓浜緋 特集展示

国の伝統工芸品指定50周年を迎える「因州和紙」「弓浜緋」の歴史を紐解きながら、製作工程を詳しく紹介します。また、弓浜緋の貴重な古布、現代の作り手の製品や、多種多様な和紙を展示します。



2 鳥取県伝統工芸品一堂展示

手仕事による普段使いの日用品から、伝統工芸士の技が光る大作まで、200点以上の鳥取県の伝統工芸品が一堂に集まります。



3 映像で見る、鳥取の伝統工芸

倉吉市出身の映画作家・波田野州平氏が「因州和紙」「弓浜緋」の工房を訪れ出会った人、製作の様子、産地の風景などを映し撮った映像を上映します。

出品作品(*予定)

●国指定伝統的工芸品

因州和紙、弓浜緋、出雲石灯ろう



3



4

●鳥取県知事指定郷土工芸品等

陶磁器、倉吉緋、綾綴織、筒書き、大山友禅染、郷土玩具、竹細工、因幡の踊り傘、淀江傘、木工品、籐細工、和太鼓 等



5



6



7

関連イベント event

「列品解説」

日時 4/19[土]・20[日]・26[土]・27[日]・5/3[土]・4[日]・5[月]・6[火] 各日14:00～

会場 鳥取県立美術館 県民ギャラリー

※各日の解説者は後日HP・SNS等でお知らせします

「陶芸体験」

日時 4/19[土]・20[日]:国造焼、26[土]:福光焼、27[日]:上神焼、

5/3[土]・4[日]:大山焼久古窯、5/5[月]・6[火]:法勝寺焼皆生窯 各日10:00～12:00

会場 鳥取県立美術館 スタジオ1

参加費 税込3,000円(焼上げ代込み/送料別途)

※予約不要、先着順 ※エプロンご持参、または汚れても良い服装でご参加をお願いします



お問い合わせ/鳥取県伝統工芸品半世紀展製作委員会

Email_50yokoso.tottori@gmail.com

web_https://50yokoso.jp/

instagram_@50yokoso



1.蓋付片手土鍋/岩井窯/山本教行 2.二色染分皿/牛ノ戸焼/小林孝男 3.因州和紙/書道用紙 4.弓浜緋
5.藤花結び編み籠バッグ 吾輩/松江藩藤細工/川口淳平 6.十二支[巳]/木野十二支/おぐら屋/小椋愛子 7.蛇の目傘/淀江傘/山本絵美子